

各賞の授与

立候補演題の中から日野原賞と若手研究優秀賞を、当日の発表演題の中から学術大会長賞を選出し表彰いたします。また、学生セッションから数演題(最優秀発表賞、優秀発表賞)を選出し表彰いたします。

田坂賞、優秀論文賞、優秀査読者賞については、本学会ホームページに掲載いたします。

日野原賞、若手研究優秀賞

本賞は、日本のプライマリ・ケア領域のパイオニアである、日野原重明先生の業績を顕彰するために設けられた賞です。これからのプライマリ・ケア領域の研究の発展を担う、次世代の若手研究者を奨励することを目的として、最も質の高い臨床研究を実施し、発表したものを表彰します。選考は、研究支援委員会により、学術大会の一般演題より複数の候補を挙げていただき、その中から理事会で決定いたします。また、学術大会以外における発表でも、特に優れたものは候補となる可能性があります。また、日野原賞候補演題に選出され、最終審査で日野原賞に選出されなかった演題から、若手研究優秀賞を選出します。

- 応募資格は大会初日〔2022年6月10日〕に40歳未満であり(生年月日が1982年6月11日以降)、日野原賞選考審査を希望するもの、発表は日本語とします。
- <一次審査>
 - 応募された演題は、投稿された抄録により一次審査が行われます。
 - 一次審査で採択されなかった演題は、一般演題(口演)として査読を受けていただきます。
- <最終審査>
 - 学術大会当日の発表により最終審査が行われます。
 - 日野原賞候補演題に選出され、最終審査で日野原賞に選出されなかった演題の中から、若手研究優秀賞を選出します。
- 2018年度からは、過去の日野原賞受賞者は日野原賞候補演題として応募できないことに変更されました。
- また、2020年度から新設されました若手研究優秀賞受賞者は日野原賞候補演題に応募できますが、若手研究優秀賞を再受賞することはできません。

学術大会長賞

本賞は、多忙で研究資源の乏しい臨床現場であっても、地道に研究を実施し発信するという、プライマリ・ケア研究の原点を忘れることのないよう、臨床現場において優れた研究を実施した実地医家の業績を顕彰するために設けられた賞です。

- 学術大会における一般演題の中から、大学などのアカデミックな組織に所属せず、臨床現場で実施された臨床研究の中で、もっとも優れたものを表彰します。
- 選考は学術大会実行委員会が組織した学術大会長賞選考委員会において検討し学術大会長が決定いたします。

Best Investigator Award / Young Investigator Award

International Sessionで発表された演題のうち、優秀なものを表彰します。本賞は、日本のプライマリ・ケア領域の研究の国際性を高めるために設けられた賞です。

海外からの演題提出の促進と、日本の次世代の若手研究者の海外飛躍を奨励することを目的としています。

- 発表の中のBest Investigator Award(発表者の資格を問わない)1題と、Young Investigator Award(日本人の若手発表者)1題を選考します。
- 選考は、国際関係委員会と海外からの参加者によって行われ理事会で決定いたします。

学生セッション最優秀賞、優秀賞

学生セッションに応募された演題について、抄録、発表の意義・内容、学会当日のプレゼンテーション等により審査を行います。

- 本学会大学ネットワーク委員会により検討し、決定いたします。

関東甲信越ブロック支部プライマリ・ケア功労賞

開催地である関東甲信越ブロックに在住する者で、長年に渡りプライマリ・ケアに従事し、多大な功績のある本会会員を表彰するものです。

- 本学会及び本学会関東甲信越ブロックの基本理念が、それぞれの地域での真摯なプライマリ・ケア活動にあることを広く知らしめることを目的とします。
- 関東甲信越ブロック支部が組織した選考委員会によって検討し、関東甲信越ブロック支部長が決定します。